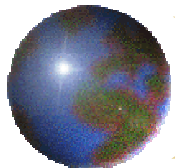


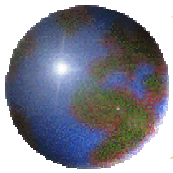
ICANN マルデルプラタ会合 政府諮問委員会報告 (2005. 4. 2-4.6)

2005年5月18日
総務省データ通信課
インターネット戦略企画室
加藤 博司



目次

| | 頁 |
|--------------------|---|
| 1. 政府諮問委員会 地域フォーラム | 3 |
| 2. 新メンバー参加とGAC体制 | 5 |
| 3. ICANN理事会との関係 | 6 |
| 4. g T L D 政策 | 7 |
| 5. c c T L D 政策 | 8 |
| 6. その他 | 9 |



1. 政府諮問委員会 地域フォーラム

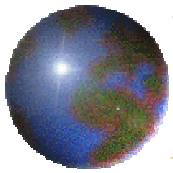
目的:

- 1) 政府諮問委員会(GAC: Governmental Advisory Committee)
(現在100メンバーが加盟)に初参加又は未加盟の政府関係者を
主たる対象として ICANN及びGACに関するオリエンテーションを実施
- 2) 開催地域において関心の高い話題に関する情報提供及び意見交換
を実施
(このフォーラムは公開で行われ、民間関係者を含め広く参加が可能)

プログラム

1. チュートリアル: ICANN及びGACの紹介
2. ワークショップ

—

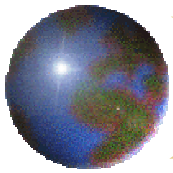


1. 政府諮問委員会 地域フォーラム

ワークショップ

1. At Large会員とラテンアメリカの市民社会
- ICANN活動への個人ユーザ参加の必要性等について
2. ccTLDマネジメント、政府と地域インターネットコミュニティ
- ラテンアメリカ地域のccTLDガバナンスモデル等についての紹介
3. LACNICについて
4. IPアドレス、IPv6について
- IPv6-WGのこれまでの活動の紹介、マレーシアの活動の紹介
及びラテンアメリカ地域におけるIPv6の現況について
(資料URL: http://194.78.218.67/web/Regional_Forums/mtg21/index.shtml)
5. IDNについて





2. 新メンバー参加とGAC体制

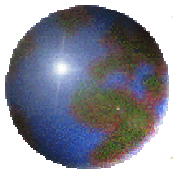
(1) メンバー構成

現在、GACメンバーは100、オブザーバーとして代表を出している国際機関が9、計109(今回出席したメンバーは32)。

ケープタウン会合以降、グルジア、ヨルダン、イラン、スーダンの4カ国がGACに加盟。

(2) 議長・副議長改選

- ・GACでは、議長1、副議長3のポストを規定。
- ・前回ケープタウン会合前に、改選作業を実施。本会合で正式承認。
 - 議長 : Mohamed Sharil Tarmizi マレーシア(2期目、2年間)
 - 副議長 : Luis Pablo Hinojosa メキシコ(2期目、1年間)
 - Stefano Trumpy イタリア(1期目、1年間)
 - (1名欠員)



3. ICANN理事会との関係

- ・ ICANN 理事会とのミーティング(公開)

戦略プラン、ccTLD委任の現況、AfriNICの結成等についてICANNから説明
また、SSACチェアよりDNSSECの重要性についてプレゼン。

- ・ ICANN CEO からGAC議長宛のレターへの返信

(URL: <http://www.icann.org/correspondence/tarmizi-to-twomey-03apr05.pdf>)

1. GACが考慮すべき公共政策側面からの課題

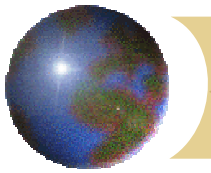
- 新gTLD導入ポリシーの確立
- IDN
- GNSOにおけるWHOISポリシー
- WIPO

2. GACとICANNボード・スタッフとの連携の強化

3. ICANNにおける最近の動向

(ICANN CEOからのレターURL:

<http://194.78.218.67/web/meetings/mtg20/twomey-to-tarmizi-01dec04.pdf>)



4. gTLD政策

Whois、新gTLD導入等、gTLDに関連する公共政策課題を中心に議論。

・GNSO理事会との対話

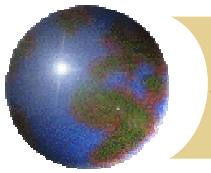
- 現在のWhoisタスクフォースの活動状況等について報告を受けるとともに、今後も定期的に情報交換。
- 次期ルクセンブルク会合において、GNSOとGAC共催によるWhoisに関するジョイントワークショップを開催することを決定。

・新gTLD導入

消費者の選択肢拡大、インターネットの安定性と安全性の確保その他の政策的観点から今後も注視。

・Whois

- 個人情報保護、消費者保護や知的財産権保護の観点からの法執行上の必要性等、公共政策の観点からGAC内で継続して議論を実施。
- GACでの議論の土台とするため、Whoisに関する広範な公共政策課題のドラフトペーパーを次回会合までに作成することを決定。



5. ccTLD政策

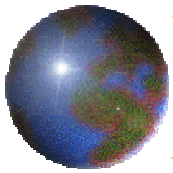
(1) GAC ccTLD原則の見直し

- ・ 一昨年よりGACのワーキンググループを中心に見直しについて議論。
- ・ 前回会合において改定案公表。その後CENTRとNominetから意見があり、本会合で承認。

(URL : http://194.78.218.67/web/docs/cctld/ccTLD_Principles_MDP_Final.rtf)

(2) ccNSOとの対話

- ・ GACとccNSOとが密な情報交換を行うため、GACとccNSOとが合同リエゾングループ(各5名)を前回会合時に設立。日本からも参加。
- ・ GACとccNSOの合同会議を開催、各国政府とレジストリの関係について、その性質が異なる3カ国(韓国、チリ、英国)からプレゼンの実施と情報及び意見の交換。



6. その他

1. ASOとの関係

ASOとGACリエゾンとの会合、日本も参加。
今後の連携内容・方法について、議論を開始。今後も継続して議論。

2. GAC 運営原則の改定

現状の活動に照らして、古く実態に合わない記述の改訂。
2003年10月カルタゴ会合で、改訂の決議、その後継続して改定案の議論があり、本会合で最終版の承認。

3. WSIS / WGIG

前回会合時、GAC議長から、ICANNに対するGACの役割及び活動の事実関係を記述したペーパーをWGIGに提出することとされ、2月のWGIG会合時に提出。

(URL : http://194.78.218.67/web/home/GAC_CHAIRMAN_WGIG_REPORT.doc)